

### 保護者のみなさん&地域の方々が応援団！

大牟田市の各学校では、学校の特色を生かした様々なESDに係る実践を行っています。保護者の方々や地域の方々は、自分の子どもが通っている学校、自分が住んでいる地域の学校が、どんな教育活動をしているのか大変興味・関心をもたれています。今まで以上に、学校・家庭・地域との情報共有をさらに進め、学校との一体感を高め、心強い応援団となっただけでなく、地域をあげてESDを進めていくことが重要になってきます。

新学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」と記されています。大牟田市では、子どもたちのために、町全体が一丸となってESDをすすめているところです。子どもたちが、「学校でこんなことをやったよ！」と家庭で話すだけでなく、ホームページや学校通信などいろいろな方法で情報発信をしていきたいものです。

うちの学校は〇〇をしています。  
子どもたちは、頑張っています。  
ご協力お願いします！



### 教えて！大牟田のESD その3

この数年、多くの先生方が大牟田市に採用されています。そこで、ESDの基本的なことについて、再度、確認しましょう。シリーズでお送りしています。

#### Q3 SDGsとは何ですか？

「持続可能な開発目標(SDGs)は、2030年を期限とする、国際社会全体で取り組む国際的な目標(持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成)です。教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。教育については、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。教育とESDは、目標4とターゲット4.7に明示されているとともに、持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17のゴール全ての達成に貢献するものです。

### 大牟田市立手鎌小学校の実践

守り、広げよう、伝統の食文化「黒崎串だご」～食文化を守る～

5年生は、田植え、稲刈りの農業体験をします。秋には、収穫した米で、「黒崎串だご」を地域の方々に作り方を習って一緒に作ります。「串だご」は、干拓の仕事や農作業の合間に食べられていた郷土の伝統食です。串だごを地域の皆さんが先人の思いを受けて大切に守り継いできたことを知った子ども達は、自分達が、この伝統の食文化を守り継いでいかなければならないと考えました。



子ども達は、作った串だごを箱に入れ、干拓の様子を描いたり、串だごの由来等の説明を書いたりした包み紙で包み、地区公民館の館長さんに地域に広める協力をお願いしに行きました。

一連の学習を通して、子ども達が、食の歴史と背景を理解し、地域の人々と力を合わせて伝統を守ろうとする姿が見られています。

### 大牟田市立白光中学校の実践

総合的な学習の時間「白光タイム」

白光タイムでは、「大牟田市の現状を把握し、自分に何ができるのかを考え、地域社会の一員として参画しようとする力」などの育成に取り組んでいます。1年生は、認知症に関わる「絵本学習」と「寸劇づくり」、2年生は「職場体験学習」、3年生は、「上級学校訪問」と「職業理解ガイダンス」を実施しました。

1年生の「寸劇づくり」では、相手の立場に立った様々な対応の仕方を劇で表現し、認知症の方に限らず、日常的に人と人の関わりにおいて大切なことを学びました。寸劇の発表会では、地域の民生・児童委員の方々にも参観いただき、「実践に生かせる寸劇でした。大人になっても優しい心を忘れないでください。」と感想をいただきました。

